

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況		事業を進捗内容	事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率					
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
都市公園事業	7	熊野灘臨海公園	紀北町		<p>[全体事業概要] 整備面積 530.8ha (片上池)管理棟、木製デッキ、園地整備、橋梁整備(城の浜)オートキャンプ場、プール、体育館、温水利用型健康運動施設整備、園地整備、多田ヶ瀬園路整備(大白)園地整備、橋梁、テニスコート、芝生広場、大白、藤ヶ谷池整備、野外学習施設</p> <p>[目的] 関西・中部の大都市圏を含めた広域的な都市圏のレクリエーション需要を充足しつつ、東紀州地域の活性化と連携した都市公園を整備する。</p>	S45	17,193	90.5%	<p>(片上池) 管理棟は供用済み、平成13年度より、道の駅としての機能を追加し利用者を増進させている。平成18年度より木製デッキの整備に着手し、同年一部供用した。供用面積3.0ha</p> <p>(城の浜) オートキャンプ場、プール、体育館は供用済み、供用面積39.9ha</p> <p>(大白) 園路、橋梁、芝生広場、テニスコートは供用済み、供用面積4.3ha</p>	<p>長期間を要しているため、社会経済情勢は大きな変化を伴っており、レクリエーションニーズも大幅に変化してきている。このため、本公園事業は再評価審議スパンである5年を区切りとし、再評価委員会に確認しながら事業を進めている。</p>	<p>費用便益分析結果 (片上池) B/C=3.31 (城の浜) B/C=3.60 (大白) B/C=1.88 (全体) B/C=3.22</p> <p>コスト縮減 維持管理コストの縮減という課題に対し、平成18年度より「指定管理者制度」を導入しました。対前年比約2百万円の縮減効果が得られています。</p> <p>代替案 本事業は、住民参画により基本計画を策定し、再評価において確認しながら進めてきた事業であるため、住民ニーズ及び社会情勢に即した計画であると考えています。また、現在の進捗状況や用地買収の状況から判断しても、現計画で進めることが妥当と判断しています。</p>	<p>早期の事業効果を発現するために、熊野灘臨海公園6地区のうち片上池地区、城の浜地区、大白地区の3地区を重点整備地区として設定し、予算の重点化を図ってきています。今後の事業進捗を阻害する要因も見当たらないことから、平成24年度を目処として整備を完了します。</p>	<p>社会状況の変化を見越した利用者予測について、妥当と判断できる説明が不足していた。従って、高速道路の整備状況を踏まえた利用者予測結果の提出を求める。さらに公的健康温泉施設について、利用者の想定および城の浜地区の民間ホテルとの役割分担を踏まえた計画方針の提出をまって再審議とする。</p>
							13,019	87.4%					
						H24	4,173	100.0%					

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(市町等事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況		事業を進める社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率				
							うち工事費	進捗率				
							うち用地費	進捗率				
下水道事業	111	名張市公共下水道(中央処理区)	名張市		(概要) ・計画区域面積: 1,286ha ・計画処理人口: 48,050人 ・管渠整備: 1,286ha ・ポンプ場整備: 2箇所 ・処理場整備: 1箇所(26.3千m <sup>3</sup> /日最大)	H10	43,605	31.7%	(社会的変化) 少子高齢化に伴い行政人口が減少傾向 汚水量(原単位)及び工場排水量の減少 全体計画諸元の見直し  (経済的変化) 本市では税収は僅かに回復傾向にあるものの、三位一体改革による交付金の削減あるいは合併しなかったことによる特別交付金の減額により、財政は厳しい状況であるが、公共下水道事業については市の主要事業として財源の確保に努めているところである	(費用対効果分析) B / C = 2.83  (コスト縮減) 全体計画の見直しによる処理区の再編(新規処理場の削減) 管渠の最小管径の見直し マンホール間距離の見直し 小口径マンホールの採用 再生材の活用  (代替案) 現実的側面から該当なし	中央処理区内の優先順位の高い地区から幹線及び面整備を行い、これによる処理場への流入水量の増加に合わせて段階的な処理施設の増設を行う。平成37年度の完成を見込んでいる	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。
							42,589	30.1%				
						H37	1,016	98.1%				
					(目的) 名張市周辺の公共用水域の水質保全と生活環境の改善を目的に公共下水道を整備する							